

OBの活躍

第98回全国高等学校野球選手権大会 出場

高向 遼平（35期生）

< 京都翔英高校 → 和歌山大学 >

第66回全日本大学野球
選手権大会 出場



第66回全日本大学野球選手権大会 出場

第48回明治神宮野球大会 出場

細川 大智（33期生）

< 烏羽高校 → 大阪商業大学 >

→ 西濃運輸 >



2人で勝って甲子園へ

京都翔英 高向遼平（3年）

「うちの打線は京都一。ここから0に抑えれば大丈夫」5回表、2ランを浴びて点差を4点に広げられても、背番号10は動じなかった。「マウンドに立てば自分がエース」とたびたび防れたピンチを気分の投球で凌いだ。11回までの7イニングを投げ、2ランを打たれた5回以外はスコアボードに0を並べた。

高校入学時は外野手。入部して早々に「愛媛からすごい投手が入った」と噂を聞いた。同学年の主軸、瀧野のことだった。浅井監督が就任した秋以降、外野手兼投手のポジションから投手一本の起用となり、その瀧野の背を全力で追いかけてきた。「試合で瀧野が0点に抑えたら、負けてられない。いつか追いついてやると思っていた」。

北稲戦は、瀧野が序盤でつかまり、失策で失点する苦しい試合だった。流れを変えたかったが、瀧野からマウンドを引き継いだ直後に失点した。ただ「引ぎずっともしょうがない」とすぐに切り替え、3つアウトを取るたびに雄たけびを上げながら、無失点のイニングを積み重ねていった。9回と11回に期待していた打線が力を発揮して、最後は勝ち越すことができた。

最後の夏、あと3勝で甲子園に手が届く。ここまで来たら、瀧野との勝負は関係ない。「2人で勝とう」。ライバルと共に「京都一」をつかむと決めた。

【木下雄司】

第97回全国高等学校野球選手権大会 出場

田淵 公一郎（34期生）

< 烏羽高校 → 和歌山大学 >

★近畿学生野球連盟1部

2019年春季リーグ

敢闘賞&ベストナイン



関西六大学野球連盟

2017年春季リーグ

最優秀選手

&

ベストナイン